

# 観光文化

Tourism Culture

237

April  
2018

1. これからの地域交通と  
その観光対応の  
方向性を考える 首都大学東京  
清水哲夫

2. 旅行者と地域を  
結びつける  
公共交通の可能性 福岡大学  
吉田樹

特集

## これからの 地域交通と 観光

3. 公共交通の維持・  
活性化へ向けた  
取り組み事例 塩谷英生

4. 地域活性化のツールとしての  
自動運転の可能性 金沢大学 菅沼直樹

5. (視座) 地域交通をめぐる  
環境変化と観光需要取り込みの可能性 塩谷英生

- ① 京丹後市丹後町  
ささえ合い交通
- ② 男鹿半島  
なまはげシャトル
- ③ 岐阜市 BRT
- ④ 明知鉄道 食堂車事業
- ⑤ 高山市・京王電鉄バス  
貨客混載
- ⑥ 永平寺町 （永平寺町）  
永平寺参ろうど （伊藤聡一）



巻頭言  
弘南鉄道の時間  
首都大学 根本 敏則

観光研究レポート  
冬季オリンピック  
開催成功要因及び  
平昌観光戦略に  
ついて （日韓国際観光  
カンファレンス  
2017）  
福永香織



活動報告 福永香織  
第12回 たびとじ Cafe  
ツアーリズム  
リテラシーという  
考え方  
「運憲」わたしの1冊 第12回  
『京都の平熱』 豊田清一 著  
立命館大学 福永香織 監修  
村上和夫

地域交通をめぐる環境変化はめまぐるしく、

ICT、EVなど新しい技術の進展や自動運転導入へ向けた社会実験、

また、BRT (Bus Rapid Transit)'

公共交通空白地有償運送、

貨客混載といった新しい交通システムの導入が進んでいます。

一方、観光市場においては、インバウンド市場の急伸に加え、

国内旅行も含めたFIT化が進展していて、

地域交通の重要性も高まっています。

本特集では、高齢化や人手不足等の諸課題を抱えた地域が、

こうした環境変化の中で、

公共交通を梃子に地域づくりを進めていく際に、

観光はどのように寄与することができるのかについて、

研究者の意見や先進事例の取材を通じて考察します。



富山ライトレール「ポートルム」